



3 シリーズ 5 シリーズ 10 シリーズ 20S

“話す”ことと“聞く”ことを同時に楽しめるのもセナのインターホンのメリットのひとつ。20Sの「オーディオマルチタスク」機能を使えば、音楽やナビ、FMラジオの音を聴きながらインターホン通話が可能だ。音楽を聴いている時に相手の声が入るか自分が話すと自動的に音量が下がり、声がなくなると再び自動的に音量が元に戻る。音楽を完全にオフにしなくともいいから、会話を弾むというものだ。

音楽を聴きながら話す

▼ How to use

無線で話す

3 シリーズ 5 シリーズ 10 シリーズ 20S

今ではインターホンに主役を取って代わられた感のあるアマチュア無線などのトランシーバーだが、今なおベテランを中心に根強く支持されている。そんな無線のヘッドセット（ヘルメットに取付けるマイクとスピーカーのこと）としてもインターホンは最適。無線機用トランスマッター「SR10」を使えば簡単にインターホンと組合せられる。



SR10 傷格: 2万7216円

無線機の音声をブルートゥースで送るほかケータイ+2系統の音声入力が可能なトランスマッター

せっかくだから、つないでいく？

他社メーカーと話す

3 シリーズ 5 シリーズ 10 シリーズ 20S

一般的にインターホン通話は同じブランドの相手としか会話できない。しかしセナの「ユニバーサルインターホン」機能を使えば、相手のブランドを選ばずインターホン通話ができる。例えば旅先で知り合ったライダーと一緒に走るといったときに、相手がセナ以外のインターホンであったとしても会話しながら走ることができるのだ。また、この機能がないと新しくインターホンを導入する場合、仲間が持っているものと同じブランドで揃える必要がある。しかし、この機能があるセナのモデルであれば、それを気にする必要がない。このようにブランドの垣根を越えて“話す”可能性を広げてくれるのが、ユニバーサルインターホン機能なのだ。

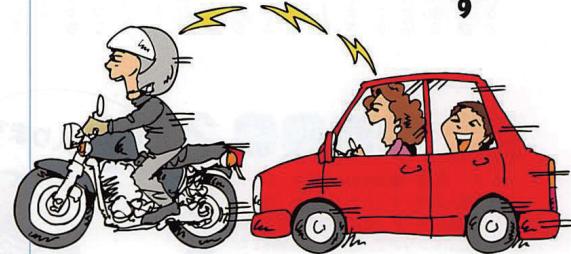


クルマと話す

▼ How to use

3 シリーズ 5 シリーズ 10 シリーズ 20S

自分はバイクで、奥様と子どもはクルマで快適に、なんて家族との“6輪ツーリング”でもセナのインターホンが活躍する。マイク&インターホン機能を持ったBT10を、クルマを運転する奥さまが使えば、バイクとクルマで常に話しながら走れるというワケ。グループツーリングのサポートカーにもオススメだ。



BT10

価格: 2万4948円
発売時期: 2015年春
最大通話人数: 4人
最大通信距離: 最長350m
(見通しの良いところ)

小型なボディにマイクとインターホン機能を持たせたモデル。イヤホンジャックにイヤホンを挿して使う

電話で話す

▼ How to use

3 シリーズ 5 シリーズ 10 シリーズ 20S

会話の相手はインターホンだけに限らない。ブルートゥースで接続したケータイやスマホで電話できるのもインターホンの基本的な機能のひとつ。代休を取ってツーリングなんてときには、ちょっぴり仕事のことにも気になるもの。でも、インターホンをスマホにつなげておけば、いつ仕事の着信があっても走りながら電話に出られるので、気持ちに余裕ができるだろう。

すみません、取引先を怒らせてしました～

